

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 大

上場会社名 原田工業株式会社

コード番号 6904 URL <http://www.harada.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 原田 章二

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員

(氏名) 檜山 洋一

TEL 03-3765-4321

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	10,130	△8.5	409	△61.2	332	△64.7	270	△12.5
23年3月期第2四半期	11,066	41.5	1,053	—	944	—	309	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 468百万円 (77.9%) 23年3月期第2四半期 263百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	12.45	—
23年3月期第2四半期	14.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	18,242	7,622	41.8	350.37
23年3月期	18,759	7,317	39.0	336.35

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 7,622百万円 23年3月期 7,317百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,800	△3.1	900	△39.3	750	△43.7	450	△46.9	20.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	21,758,000 株	23年3月期	21,758,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	3,135 株	23年3月期	2,739 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	21,755,159 株	23年3月期2Q	21,755,471 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きを実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(7) 追加情報	10
(8) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、期初においては東日本大震災の影響によるサプライチェーンの寸断及び計画停電等により急激に低下していた自動車の生産が徐々に持ち直すなど回復傾向となりました。しかしながら円高や欧州債務問題の長期化により国内経済は停滞しつつあります。先行きについては、復興需要の本格化などプラス要素も見込まれますが、世界の金融市場の変調や円高など、経済への影響が懸念されるなど非常に厳しい状況と予想されます。

海外経済につきましては、中国・インドでは内需を中心に成長を継続しておりますが物価上昇など懸念材料も存在し、米欧諸国では債務問題を背景に金融市場が動揺するなど、景気回復に大きな影響を及ぼしております。

先行きについては欧州の債務問題から始まった金融市場の変調により世界各国経済は非常に厳しい状況と予想され、景気の後退局面も否定できません。

当社グループの属する自動車業界におきましては、期初において東日本大震災の影響により国内生産台数は大幅な減少となりましたが徐々に回復してまいりました。

また、アジア新興国市場では拡大が継続し、北米市場をはじめとする先進国市場では回復基調となっておりますが、自動車生産台数は鈍化傾向となりつつあります。

先行きについては世界各国経済の悪化の影響並びにタイの洪水問題による現地での生産停止やサプライチェーンの寸断による国内及び世界各国の生産停止又は減産も否定できない状況であり、当社グループへの影響も懸念されます。

このような状況のもと、国内では、期初においてお客様へ滞りなく製品を供給するための対応に全力で取り組み、期後半からは自動車の生産回復に対応した製品の安定供給を維持してまいりました。また、引き続き成長著しいアジア市場並びに日・米・欧成熟市場での拡販活動を自動車用アンテナ及び附帯機器を中心に進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高（海外子会社平成23年1～6月、当社及び国内子会社平成23年4～9月）は国内で売上が減少したことにより101億30百万円（前年同四半期比8.5%減）となり、利益面につきましては、売上高の減少等により、営業利益は4億9百万円（同61.2%減）、経常利益は3億32百万円（同64.7%減）、四半期純利益は2億70百万円（同12.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、セグメントの売上については外部顧客に対する売上高とセグメント間の内部売上高を記載しております。

①日本

期初の自動車メーカーの生産台数の減少が影響し、外部売上高は42億44百万円（同17.1%減）、セグメント間の内部売上高は3億9百万円（同32.4%減）、営業損失は5百万円（前年同四半期は営業利益4億38百万円）となりました。

②アジア

為替レートの影響はありましたが、中国市場の拡大及びアジア市場での拡販活動等により、外部売上高は17億30百万円（同5.9%増）、セグメント間の内部売上高は33億40百万円（同5.6%減）、営業利益は原材料価格の高騰及び労務経費の上昇等により1億41百万円（同65.8%減）となりました。

③北中米

米国及びメキシコの市場回復傾向及び拡販活動を進め現地通貨単位では売上が増加しましたが、為替レートの影響により外部売上高は33億58百万円（同10.0%減）、セグメント間の内部売上高は20百万円（同4.3%減）、営業利益は現地通貨単位で売上の増加及び原価率の改善により2億11百万円（同7.4%増）となりました。

④欧州

欧州の市場回復傾向及び拡販活動により、外部売上高は7億96百万円（同36.8%増）、セグメント間の内部売上高は15百万円（同27.1%増）となりましたが研究開発費用の増加もあったため営業利益は9百万円（同28.4%減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当社グループは財務体質の改善目標として経常利益率など収益性の改善ももちろんのことですが、当社グループの課題である経営の安全性を高めるため、有利子負債の削減、たな卸資産の圧縮、自己資本の充実等に努めてまいりました。この結果、次のとおりの財政状態となりました。

（流動資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、136億87百万円（前連結会計年度末141億3百万円）となり、4億16百万円減少いたしました。

主に「受取手形及び売掛金」が5億58百万円増加し、「現金及び預金」が8億17百万円、「商品及び製品」が1億84百万円減少いたしました。

（固定資産）

当第２四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、45億55百万円（前連結会計年度末46億55百万円）となり、1億円減少いたしました。

主に「投資その他の資産」が12百万円増加し、「有形固定資産」が96百万円、「無形固定資産」が16百万円減少いたしました。

（流動負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、72億42百万円（前連結会計年度末100億72百万円）となり、28億29百万円減少いたしました。

主に「短期借入金」が7億33百万円増加し、「１年内返済予定の長期借入金」が30億円、「その他」に含まれる「未払法人税等」が2億96百万円、「支払手形及び買掛金」が1億73百万円減少いたしました。

（固定負債）

当第２四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、33億77百万円（前連結会計年度末13億69百万円）となり、20億7百万円増加いたしました。

主に「長期借入金」が20億円増加いたしました。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産の残高は、76億22百万円（前連結会計年度末73億17百万円）となり、3億4百万円増加いたしました。

主に「為替換算調整勘定」が2億1百万円、「利益剰余金」が1億7百万円増加いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前第２四半期連結会計期間末と比較して11億29百万円減少し、37億14百万円（前第２四半期連結会計期間末比23.3%減）となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、「税金等調整前四半期純利益」3億35百万円、「減価償却費」2億63百万円等の増加要因がありましたが、「売上債権の増加額」5億40百万円、「法人税等の支払額」3億63百万円、「仕入債務の減少額」1億91百万円等の減少要因により、4億54百万円の支出（前年同四半期は5億1百万円の獲得）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、「有形固定資産の売却による収入」97百万円、「有形固定資産の取得による支出」1億92百万円等により、1億55百万円の支出（前年同四半期比9.6%増）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、「短期借入れによる収入」50億4百万円、「長期借入れによる収入」20億円、「短期借入金の返済による支出」40億24百万円、「長期借入金の返済による支出」30億円等により、1億95百万円の支出（同83.8%減）となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

本日公表の「平成24年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」において、平成24年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想数値と実績値の差異を開示しております。又、通期の連結業績予想につきましては、平成23年6月22日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,925,475	4,108,277
受取手形及び売掛金	3,497,677	4,055,901
商品及び製品	2,782,727	2,597,850
仕掛品	322,472	398,805
原材料及び貯蔵品	1,615,158	1,693,163
その他	973,595	847,586
貸倒引当金	△13,681	△14,365
流動資産合計	14,103,425	13,687,220
固定資産		
有形固定資産	3,186,400	3,089,836
無形固定資産	356,668	340,403
投資その他の資産		
その他	1,117,219	1,127,392
貸倒引当金	△4,405	△2,405
投資その他の資産合計	1,112,814	1,124,987
固定資産合計	4,655,883	4,555,227
資産合計	18,759,308	18,242,447
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,950,561	1,777,496
短期借入金	3,642,635	4,375,824
1年内返済予定の長期借入金	3,000,000	—
賞与引当金	236,271	252,896
役員賞与引当金	31,125	14,800
その他	1,211,428	821,384
流動負債合計	10,072,021	7,242,402
固定負債		
長期借入金	—	2,000,000
退職給付引当金	606,803	624,302
その他	763,083	753,477
固定負債合計	1,369,886	3,377,780
負債合計	11,441,907	10,620,182

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,019,181	2,019,181
資本剰余金	1,859,981	1,859,981
利益剰余金	5,614,503	5,722,255
自己株式	△1,233	△1,292
株主資本合計	9,492,433	9,600,125
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,363	△7,991
為替換算調整勘定	△2,171,669	△1,969,868
その他の包括利益累計額合計	△2,175,032	△1,977,860
純資産合計	7,317,400	7,622,265
負債純資産合計	18,759,308	18,242,447

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	11,066,065	10,130,467
売上原価	7,606,119	7,268,829
売上総利益	3,459,945	2,861,638
販売費及び一般管理費	2,406,058	2,452,325
営業利益	1,053,887	409,312
営業外収益		
作業くず売却益	7,206	7,587
その他	29,426	25,878
営業外収益合計	36,633	33,466
営業外費用		
支払利息	53,410	48,802
為替差損	84,989	56,127
その他	7,798	4,921
営業外費用合計	146,198	109,851
経常利益	944,322	332,926
特別利益		
固定資産売却益	171	71,317
貸倒引当金戻入額	2,698	—
特別利益合計	2,869	71,317
特別損失		
保険解約損	—	31,986
本社移転費用	—	31,944
事業構造改善費用	324,402	—
その他	15,911	4,584
特別損失合計	340,314	68,515
税金等調整前四半期純利益	606,878	335,728
法人税、住民税及び事業税	426,358	71,266
法人税等調整額	△129,212	△6,453
法人税等合計	297,146	64,812
少数株主損益調整前四半期純利益	309,732	270,916
少数株主利益	—	—
四半期純利益	309,732	270,916

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	309,732	270,916
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△31,565	△4,628
為替換算調整勘定	△14,980	201,800
その他の包括利益合計	△46,546	197,172
四半期包括利益	263,186	468,088
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	263,186	468,088
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	606,878	335,728
減価償却費	287,707	263,075
有形固定資産売却損益 (△は益)	334	△70,113
支払利息	53,410	48,802
売上債権の増減額 (△は増加)	△644,336	△540,426
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△361,782	9,487
仕入債務の増減額 (△は減少)	291,217	△191,847
事業構造改善費用	324,402	—
その他	131,659	101,907
小計	689,491	△43,385
利息の支払額	△53,023	△48,317
法人税等の支払額	△143,724	△363,965
その他の収入	9,030	6,224
その他の支出	—	△5,125
営業活動によるキャッシュ・フロー	501,773	△454,569
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△79,020	△192,907
有形固定資産の売却による収入	7,102	97,377
その他	△70,222	△60,217
投資活動によるキャッシュ・フロー	△142,140	△155,748
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4,925,780	5,004,685
短期借入金の返済による支出	△6,012,470	△4,024,867
長期借入れによる収入	—	2,000,000
長期借入金の返済による支出	—	△3,000,000
配当金の支払額	△107,732	△162,192
その他	△13,302	△13,182
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,207,724	△195,556
現金及び現金同等物に係る換算差額	△85,320	△7,297
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△933,411	△813,172
現金及び現金同等物の期首残高	5,777,155	4,527,646
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,843,743	3,714,474

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する 売上高	5,118,337	1,635,055	3,730,903	581,769	11,066,065	—	11,066,065
セグメント間の内部 売上高又は振替高	457,428	3,540,616	21,793	12,245	4,032,084	△4,032,084	—
計	5,575,766	5,175,672	3,752,697	594,014	15,098,150	△4,032,084	11,066,065
セグメント利益	438,412	414,478	197,155	12,593	1,062,640	△8,752	1,053,887

(注) 1. セグメント利益の調整額△8,752千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	北中米	欧州	計		
売上高							
外部顧客に対する 売上高	4,244,880	1,730,928	3,358,609	796,048	10,130,467	—	10,130,467
セグメント間の内部 売上高又は振替高	309,405	3,340,573	20,857	15,570	3,686,407	△3,686,407	—
計	4,554,285	5,071,502	3,379,466	811,618	13,816,874	△3,686,407	10,130,467
セグメント利益又は損失 (△)	△5,641	141,800	211,728	9,017	356,905	52,407	409,312

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額52,407千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

(8) 重要な後発事象

該当事項はありません。